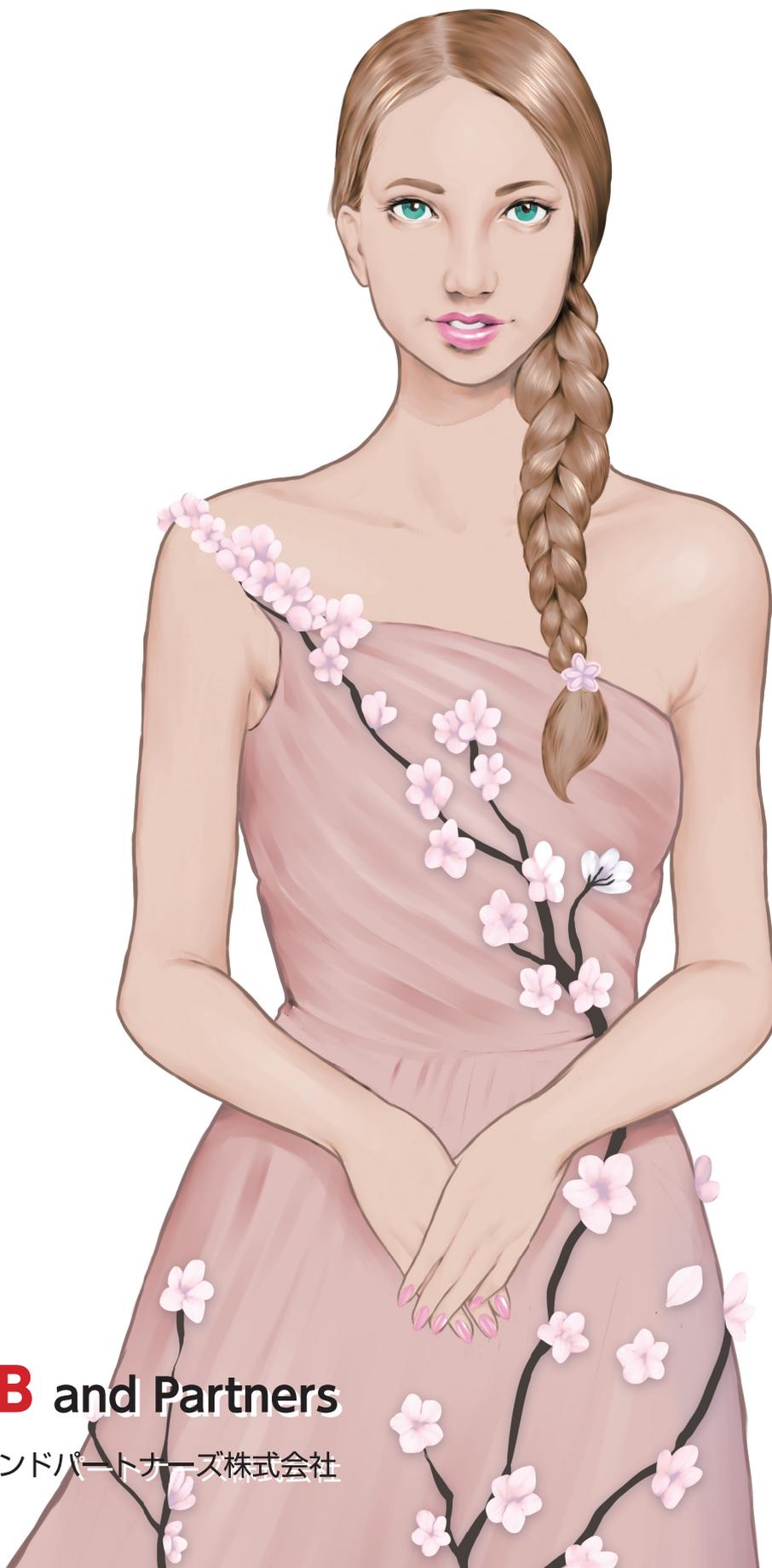


ESTETICa エステティカ ベレーザ

**BELLEZZa**

# 広告データ制作ガイド



**PLUS B and Partners**

プラスビーアンドパートナーズ株式会社

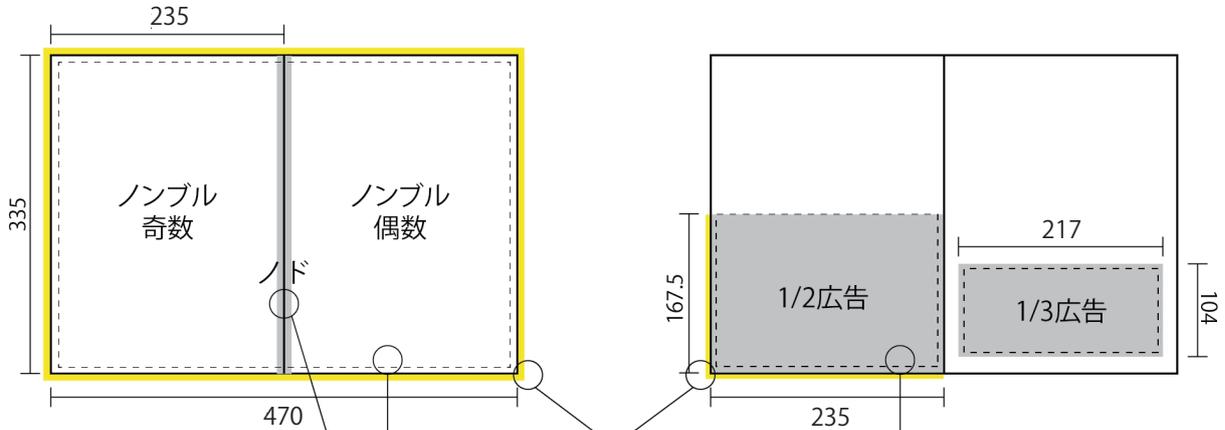
2024.01 改訂

# 誌面サイズとデータ制作

## レギュラー版

天地335mm×左右470mm(見開き)

●1P広告 335mm×235mm ●1/2広告 167.5mm×235mm ●1/3広告 104mm×217mm  
※表4は左右マイナス10mm



### 制作上の基本内容

3mmの塗足しが必要です

文字等はさらに5mm内側に配置ください

ページによっては文字がズレて見辛くなるため、  
文字がかからないことをお勧めします。

無線綴じの場合は、  
中央の綴じ位置より左右に  
5mmずつ(計10mm)  
開けて制作ください。

表2/表2対向ページと  
表3/表3対向ページのノド部分は、  
糊しろが必要です。  
それぞれ、ノド位置から3mmは、  
絵柄/文字等配置しないようお願いします。

## BELLEZZA誌面サイズ

●2P = 335mm×470mm

●1P = 335mm×235mm  
※表4は左右マイナス10mm

●1/2P = 167.5mm×235mm

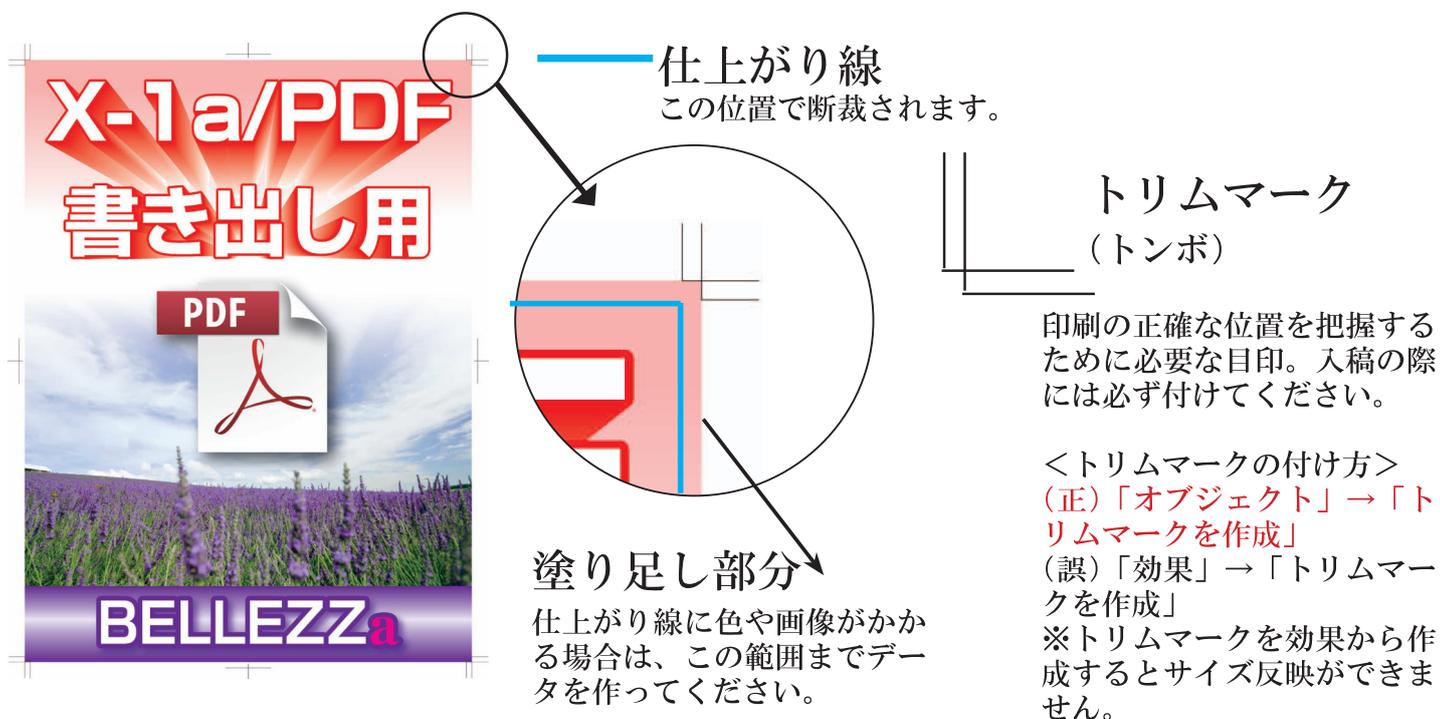
●1/3P = 104mm×217mm

# ①トリムマーク（トンボ）を必ず付ける！

## ● PDF 入稿のトラブル第1位はトリムマーク（トンボ）の付け忘れ

PDF 入稿はトラブルの少ない入稿形式ですが、おこるトラブルの多くが「トリムマーク（トンボ）が付いていない」です。

トリムマーク（トンボ）は正確な印刷位置を把握するのに重要です。トリムマーク（トンボ）のない場合は再入稿をお願いすることになるので、必ずトリムマークを付けてください。



## 仕上がり位置と塗り足し部分について

### ● 塗り足し部分まで、色や画像が引かれていない

意図しない余白が出来てしまう場合があります。

必ず、塗り足し部分まで画像や色を引いてください。

### ● 仕上がり位置を「実線」設定にしている

仕上がり位置を実線で表示していると、その線も印刷されてしまいます。

仕上がり位置は実線で表示しないでください。

## ②画像は 350dpi (モノクロ 600dpi) にする

●画像の解像度 (dpi) は、印刷の品質に大きく影響します。

カラー印刷の適切な画像の解像度は 350dpi (モノクロ 600dpi) です。  
極端に解像度が低い場合はデータ不備となります。



**適切な画像**

画像が綺麗に表示されています。印刷に適しています。

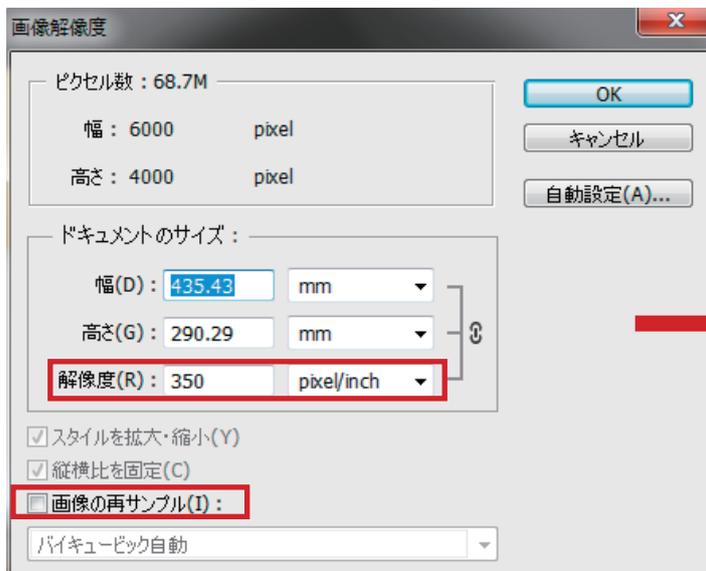


**不適切な画像**

画像が荒くなっています。印刷には不適切です。

●入稿前に画像解像度、画像サイズを確認してください。

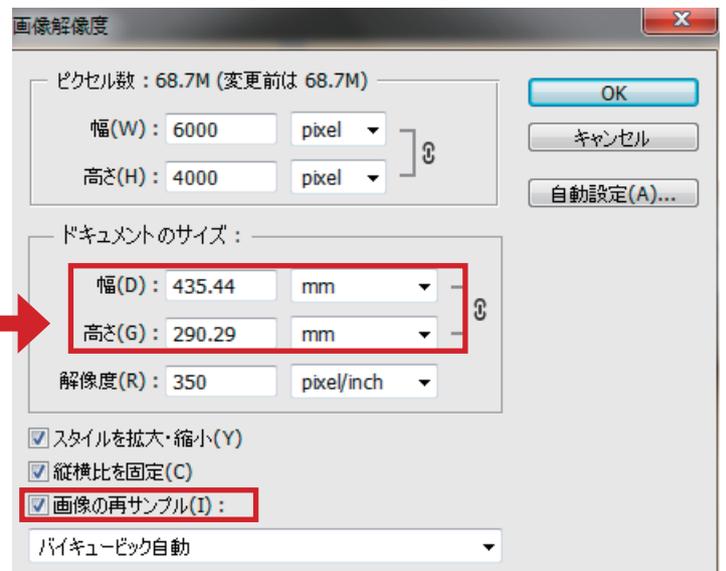
～ Photoshop を使った画像解像度、画像サイズの確認方法～



### 解像度を適正に設定する

- ① 「イメージ」 → 「画像解像度」を選択
- ② 「画像の再サンプル」のチェックを外す
- ③ 解像度 350pixel/inch に設定！  
(モノクロは 600pixel/inch)

※印刷に適した画像の解像度となります。



### 画像のサイズを確認する

- ① 「画像の再サンプル」のチェックを入れる  
(縦横比を固定にチェックが入っているか確認)
- ③ 幅、高さが使用したい画像のサイズ以上かを確認する。

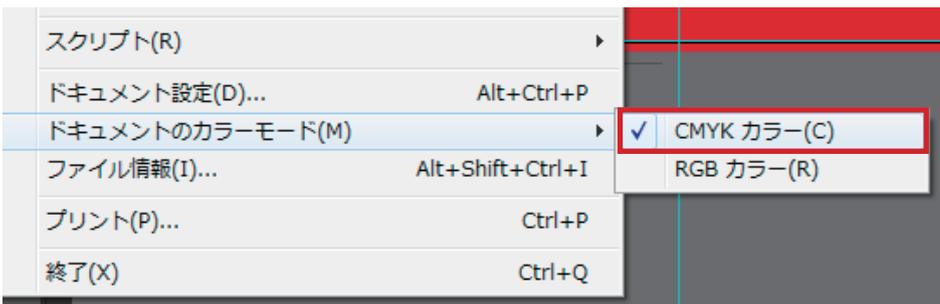
## ③画像のカラーモードは必ず「CMYK」

### ●印刷に適した画像モードは「CMYK」です

カラー印刷に適した画像モードはCMYKです。入稿前に画像モードを確認してください。

※ RGBのまま入稿してしまうと、意図しない色で仕上がる場合があります。PDF入稿は完全埋め込みデータとなるため、PDF化する前にCMYKに変更していただく必要があります。印刷所では確認ができませんので、入稿された画像モードのまま印刷させていただきます。 責任を負いかねますのでご注意ください。

### ●Illustratorドキュメントのカラーモード「CMYK」の設定方法



↑ドキュメントのカラーモードは、Illustratorのウインドウ上部にも表示されます。CMYKになっていることを確認してください。

#### カラーモードを確認・変更する

「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK カラー」

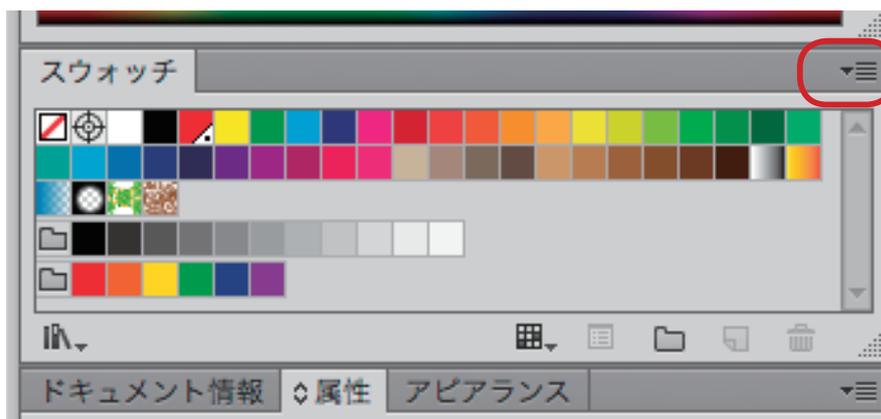
### 「特色（スポットカラー）」の使用はできません

#### ●BELLEZZaは特色（スポットカラー）に対応していません！

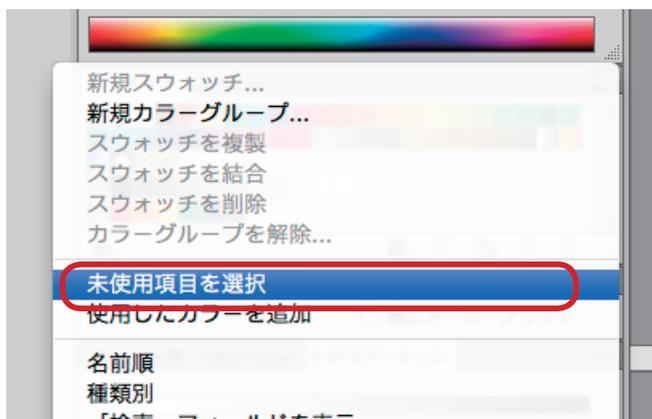
BELLEZZaはプロセスカラー印刷（CMYKカラー印刷）を採用しています。CMYK以外の色にあたる特色（スポットカラー）には対応していません。入稿の際は特色（スポットカラー）を削除して入稿してください。

IllustratorにてPDF/X-1a形式にて保存をすると「27色以上の特色と透明部分を含んでいるため、ドキュメントを出力できません。」と表示が出る場合は特色が含まれています。 →特色削除の詳しい方法は次のページ

## ●未使用項目→特色を削除する方法



①  
「スウォッチ」  
右にある▼をクリック



②  
ウィンドウオプションが表示されます  
「未使用項目の選択」をクリック

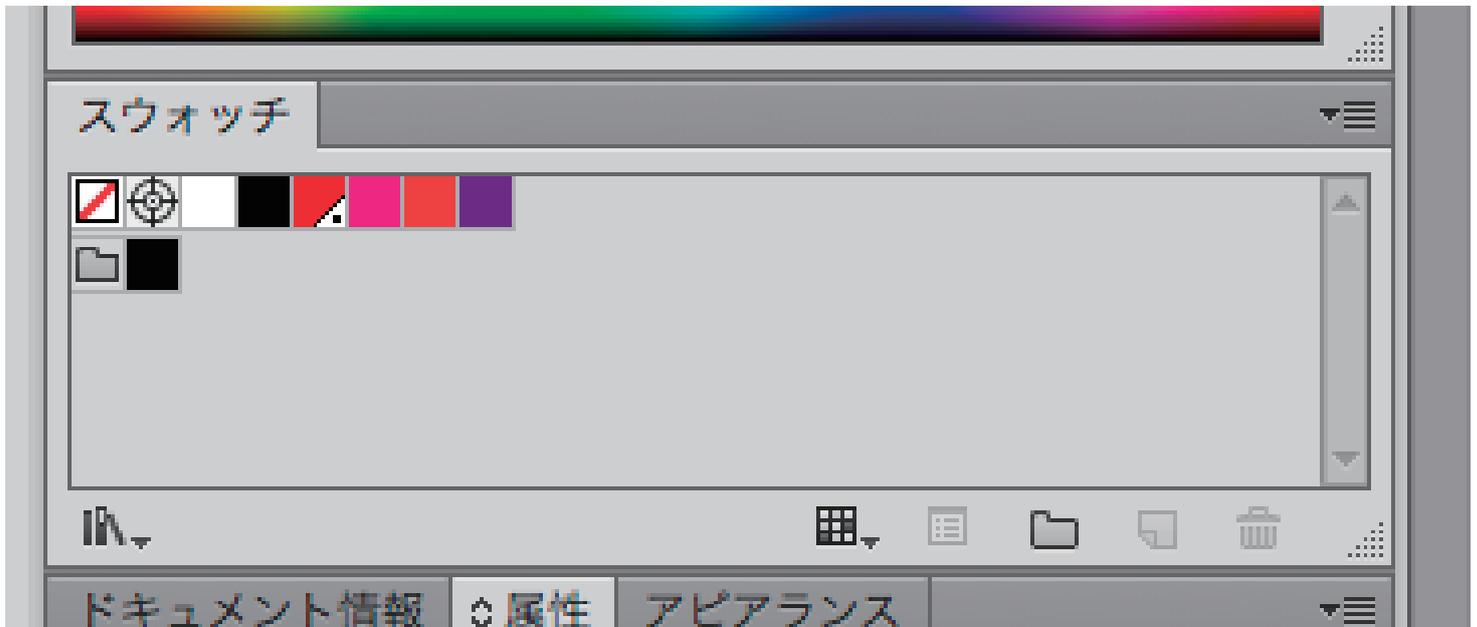


③  
「ゴミ箱」のアイコンをクリック  
※未使用項目が削除されます



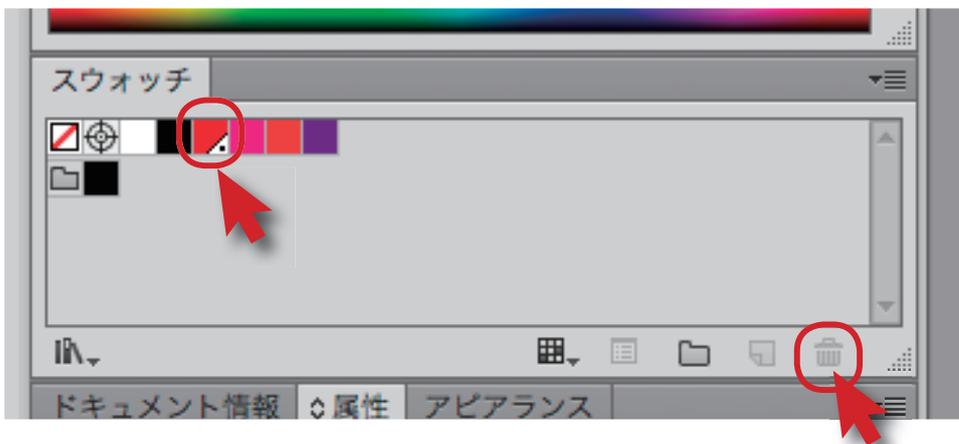
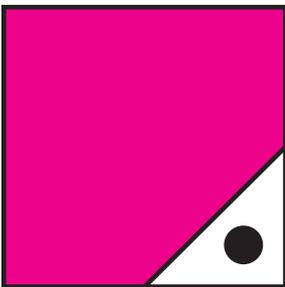
④  
「選択したスウォッチを削除しますか？」  
→「はい」  
※未使用項目が削除されます

次に、特色を削除します→



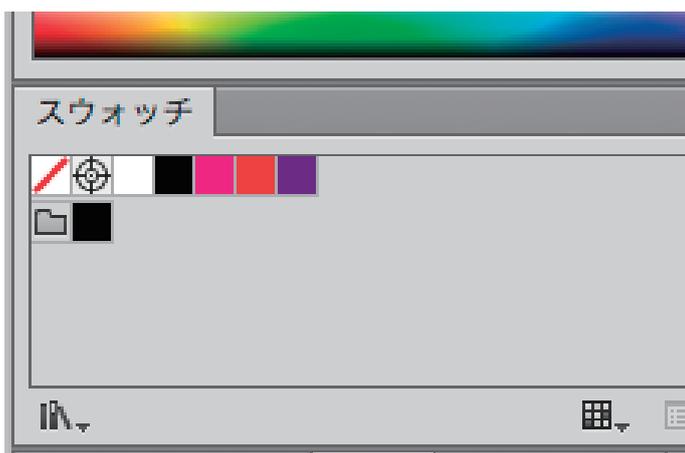
⑤

未使用項目を削除後  
このタイプのアイコンがある場合は  
特色が使用されています。  
BELLEZZa は特色に対応していないので削除！



⑥

特色のアイコンをクリック  
↓  
ゴミ箱をクリック  
↓  
削除「はい」



特色が削除され  
CMYK の4色になりました

## ④ フォントは原則としてアウトライン化

### ●PDF入稿におけるアウトライン化の有無について

PDF はパソコンの環境に左右されていないデータという特徴があります。これは、すべてのデータがPDFに埋め込まれているから可能です。しかし、PDFデータにフォントや画像が埋め込まれていない場合は文字化けやレイアウトが乱れる結果につながります。（埋め込まれていない画像やフォントが含まれているPDFを別のパソコンで開くと、代替えフォントになります）

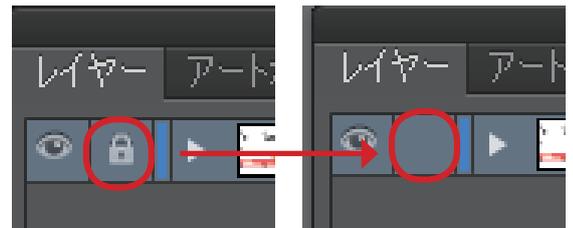
入稿の際は フォントをすべてアウトライン化 してください。

### ●フォントのアウトライン化

#### ① すべてレイヤーのロックを解除

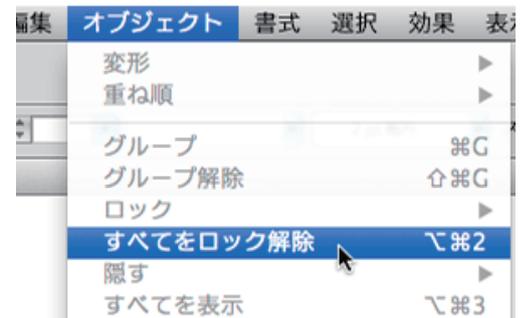
鍵マークをクリック→「ロックを解除」

非表示等印刷に不要なレイヤーは削除してください。



#### ② すべてのオブジェクトのロックを解除

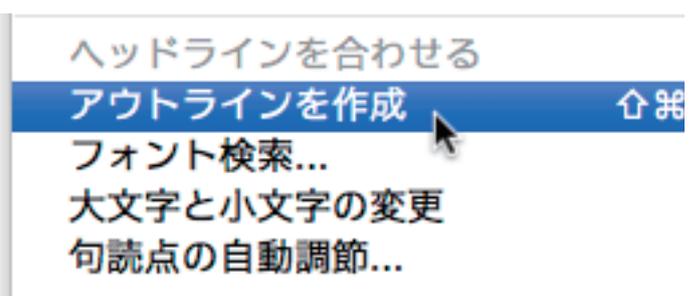
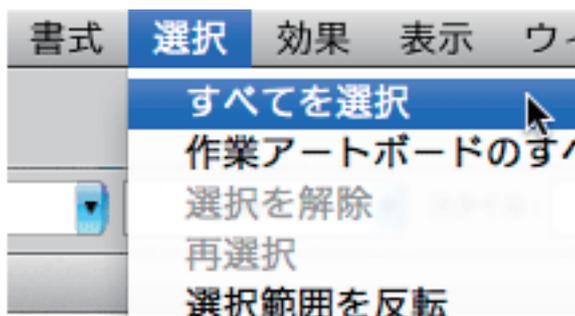
「オブジェクト」→「すべてのロック解除」



#### ③ アウトライン化を作成

[選択] → [すべてを選択]

[書式] → [アウトラインを作成]



## ⑤ 「K100%」の使用は避けてください

①のように、背面の画像やオブジェクト上に、K100%のオブジェクトや文字を配置した場合は背面の画像やオブジェクトが透けて見えてしまいます。回避方法として②のようにカラー設定を K100%以外に設定して下さい。

①



↑ K100%

②



↑ K100%C10%

※ K100%が透けて見えるのは製版処理後のデータのみです。  
AI や PDF では表示されません。

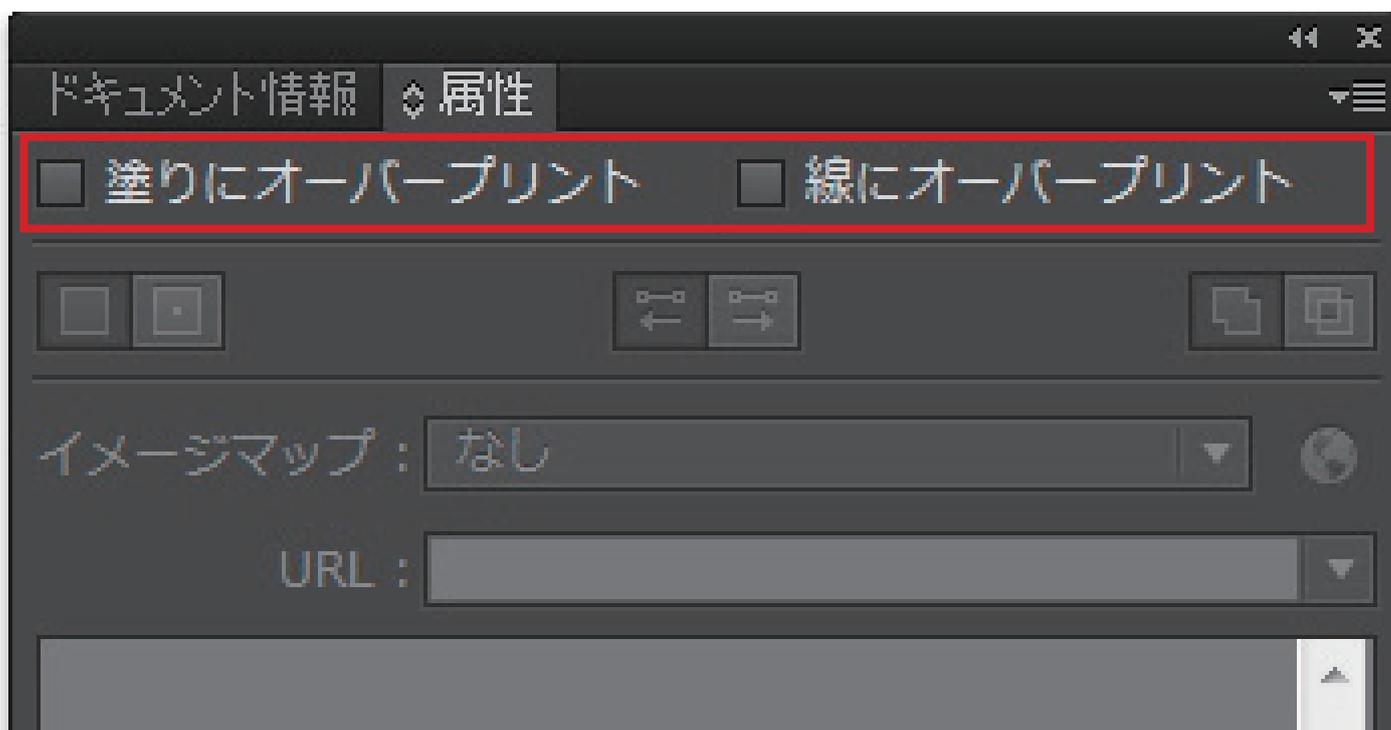
リッチブラックのインク濃度が高すぎると印刷不良の原因となります。  
インク濃度は合計 350%程度にしてください。

## ⑥オーバープリントの設定は OFF

### ●オーバープリント（スミノセ）は無効となります

オーバープリント（スミノセ）の機能（塗りや線にオーバープリント）を使われても、システム上オーバープリントがかかりません。透明効果などにこのオーバープリント属性を使用しないようにご注意ください。

「属性」のチェックをつけないようにお願いします。



- ① 「ウインドウ」 → 「属性」を開く
- ② 「塗りにオーバープリント」「線にオーバープリント」のチェックを外す

**データ入稿は [setup@plus-b.jp](mailto:setup@plus-b.jp) まで！**

データ量が多い場合は、データ便、ギガファイルなどの大容量データ送信ソフトをお使いください。